

社長のひとりごと

【入居者新聞】

Vol. 08

2012 12月



アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役

文／久保川 議道

text:Yoshimichi Kubokawa

私の夢、『永住型賃貸』住宅をつくりまくること!!

ホームページ

asahiglobal.co.jp
| glocal-mie.co.jp
| super-chintai.com
agg-hd.co.jp | goldtrust.co.jp
| goldage.co.jp
| kubokawayoshimichi.com

全ての「社長のひとりごと」が
WEBで読める!

『くぼかわよしみち.com』

毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

超快適に『賃貸』に住む、ライフスタイルの提案です。それが私の『永住型賃貸』のコンセプト(概念、観念、この商品の全体をつらぬく、新しい観点、発想による基本的な考え方。それを表した主張のこと)ですね。ヨーロッパでもアメリカでも『賃貸』は『超快適』です。

まず第①に、3人家族で100㎡(30坪)はあたり前です。日本はそもそも『狭い』から住みにくいんですが、私の作っている様な広い100㎡、200㎡が地域には全くないので、入居者自身が広い賃貸の良さを知りません。100㎡賃貸に一度生活して、体験すれば二戸建住宅など、もうどうでもよくなりますね。

第②に何故外国では賃貸に生活するかと言うと、そもそもずっと今の場所に居るつもりがないからですね。農耕民族の日本人と違って、狩猟民族ですから獲物を追っかけて、いつも移動していました。仕事でも良い条件があればすぐに変わりますし、好きな学校があれば、その地方に引越します。子供ともずっとは同居しませんから、家族の人数によっても、賃貸ならすぐに引越しができます。要するに生活に合わせて、

フレキシブル(柔軟性があり、融通がきくこと)です。さて現在では日本人も同じライフスタイルですね。ですから『超快適』なのは『賃貸』というの、私のコンセプトとなっています。

第③しかし、しかし、広い賃貸は『家賃が高い』から支払いが苦しい。賃貸を替わると保証金や礼金や前払い家賃や火災保険で『引越し貧乏』になってしまいます。これが日本の現状です。困ったものですね。私の夢を実現するためには、この2つを潰さないと、と20年間考えて作ったのが『家賃半値』の『トラストシステム』と『永住型賃貸』の『100㎡、200㎡』の『大型賃貸』の『トラストマンション』でした。

そもそも私の考えは【1】入居者が『礼金』を家主に払うなんて可笑しい。家主が入居者に『入居お礼金』を払うのが正しい。入居していただけるのなら『引越代』も大家が払ってサービスしても、2ヶ月分の家賃を捨てて、36ヶ月も住んでいただければ十分に採算がとれて、家主は儲かるのです。ブティックでもスーパーでも商売では『お客様第二』は当たり前なのに、どうして日本の家主は顧客第二

を実行しないのでしょうかね。私がいつも言っていますように、家主はアパートマンションを建てたくて建てていないと言う事です。税金対策であって、入居者の快適な生活なんて全然興味がありませんね。だからアパート経営で失敗する地主がはいて捨てる程います。残念なことです。

【2】60㎡の賃貸と100㎡の賃貸の差は40㎡ですから(40㎡×1,000円)4万円の家賃が上がりまします。しかし、100㎡の広い部屋は建築費が安くなるので4万円ではなく2万円ぐらいのアップですみますね。とは言っても家賃は少し上がりますから、生活が苦しくなるので、私は『家賃半値のトラストシステム』を發明して、実用新案特許となつています。20年以上かかった、私の夢がそろそろ実現しそうな予感です。

入居者の皆様にもぜひともご興味をもつていただきたいと願っています。

アサヒグローバル株
ゴールドトラスト株

代表取締役 久保川 議道